

# 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道382号 おおくぼ 大久保バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	長崎県	
起終点	自：長崎県対馬市峰町三根 至：長崎県対馬市峰町三根			延長	1.9 km		
事業概要：一般国道382号は、対馬島の上県郡上対馬町から杵岐島を經由し佐賀県唐津市に至る延長約110kmの主要な幹線道路であるほか、物流効率化や市町村合併による広域行政を支援する重要な路線である。大久保バイパスは、対馬島を縦貫する道路の一部を構成し、トンネル1本、橋梁5橋を含む延長1.9kmの2車線の道路である。							
H7年度事業化		H 年度都市計画決定 (H 年度変更)		H 8 年度用地着手		H 9 年度工事着手	
全体事業費	38 億円		事業進捗率	88%		供用済延長	1.4 km
計画交通量	2800台/日						
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	1.2		総費用 (残事業/事業全体)	5/45 億円		
	(残事業)	1.6		総便益 (残事業/事業全体)	8/55 億円		
				（事業費：4 / 44億円）	（走行時間短縮便益：7 / 51億円）		
				（維持管理費：1 / 1億円）	（走行費用減少便益：1 / 4億円）		
				（交通事故減少便益：0 / 0億円）		基準年	平成16年
感度分析の結果：残事業（事業全体）							
交通量変動：B/C = 1.6 (1.3) (交通量+10%)			B/C = 1.4 (1.1) (交通量-10%)				
事業費変動：B/C = 1.5 (1.2) (事業費+10%)			B/C = 1.8 (1.2) (事業費-10%)				
事業の効果等							
<ul style="list-style-type: none"> <li>物流効率化の支援（重要港湾厳原港、対馬空港へのアクセス向上が見込まれる）</li> <li>安全で安心できるくらしの確保（二次医療施設へのアクセス向上が見込まれる）他8項目に該当</li> </ul>							
関係する地方公共団体等の意見							
一般国道382号は、物流の効率化、交流の促進等に重要な役割を果たすことが期待されており、対馬島内6町で構成される一般国道382号整備促進委員会より早期整備の要望（平成13年4月）を受けている。							
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等							
平成16年3月に対馬島内6町が合併し対馬市となったため、幹線道路である本路線の整備は重要である。							
事業の進捗状況、残事業の内容等							
一部において用地補償協議が難航し、工事着手までに時間を要したが、現在までに約1.4kmを部分供用している。							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等							
工事未着手であった区間には着手しており平成18年度に全線供用予定である。							
施設の構造や工法の変更等							
特になし							
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
事業概要図							

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。